

# タイ チャオプラヤ川スマートフェリー導入事業 (PF融資)



## バンコクの大気汚染軽減と都市環境の改善に貢献

### 事業概要

本事業は、タイの首都バンコクのチャオプラヤ川における環境負荷の低い電動フェリーの製造・運営事業への支援を通じ、同国の大気汚染物質排出の抑制と都市環境の改善に寄与するもの。

### 本事業のポイント

#### 1. 東南アジア初の電動フェリー(\*)でクリーンな公共交通を整備

バンコクでの移動手段は、ディーゼルエンジンのフェリーや公共バス、ガソリン自動車に大きく依存し、大気汚染や交通渋滞等の都市環境問題が深刻化している。このうち、チャオプラヤ川では、毎日約5万人\*\*の市民が利用するディーゼルフェリーから窒素酸化物 (Nox) やPM2.5が排出され、大気汚染の要因の一つとなっている。本事業は、電動フェリー27隻をASEAN地域において商業ベースで大規模導入する初めての案件であり、他の交通モードの電化普及につながる事が期待されている。

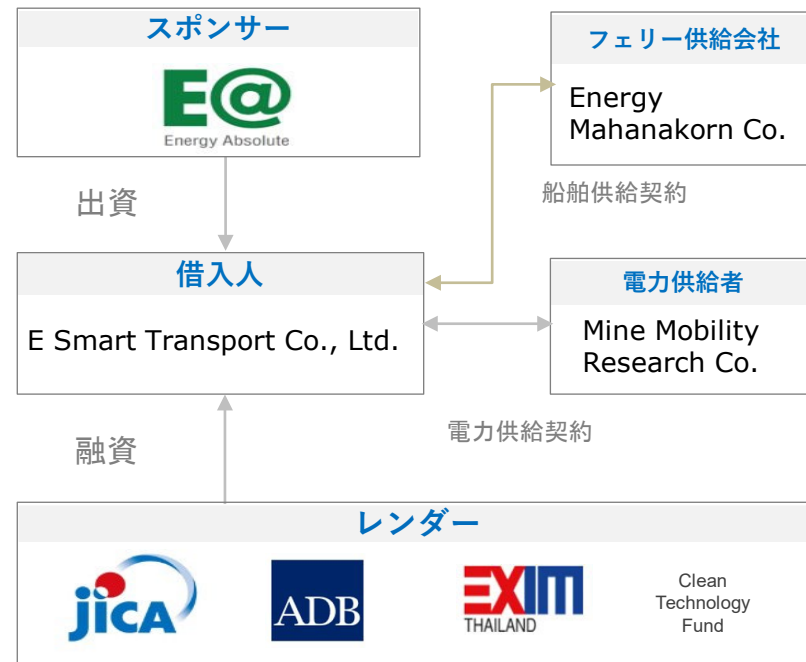
#### 2. 既存のJICA事業とのシナジー

JICAはこれまでに、都市鉄道整備のための円借款の供与や、バンコク首都圏の交通整備計画の策定、PM2.5等大気汚染の予防・軽減に関する技術協力等を実施しており、これらの事業と合わせてバンコク首都圏における大気汚染の緩和、都市環境の改善に貢献。

#### 3. ASEAN海外投融資イニシアティブに合致

ASEAN地域内でのグリーン投資促進に資する事業であり、気候変動対策・SDGsの達成に資するもの。

\*商業ベースにおける導入 \*\* 2019年 (コロナ禍前の水準)



チャオプラヤ川を走行するEA社のスマートフェリー

